



**VISION &
STRATEGY**

第85期
中間事業報告書

平成13年4月1日～平成13年9月30日

SENKO

情報技術を駆使し、 最適な流通ソリューション



代表取締役社長 小池 洋

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、第85期中間事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、米国のIT不況をきっかけにした世界経済の減速を受け、製造業を中心に生産が減少し、企業収益の悪化、設備投資の落ち込みに歯止めがかからず、雇用や所得環境の悪化による個人消費の低迷、さらにはデフレ化の進行等により、景気の後退色が一段と強まってきました。

物流業界におきましても、貨物輸送量の減少、一般市況における低価格化の進行と競争激化による取送料金の低下等、厳しい経営環境が続きました。

このような環境にあつて、当グループは、中期経営三年計画の初年度として、お客さまのニーズに的確に対応できる高品質・高付加価値の物流サービスの提供に努めるとともに、新ロジスティクスシステムであるベストパートナーシステムを武器に、現状の物流システムのさらなる高度化を図り、新規需要の開拓を積極的に推進してまいりました。またお客さまのニーズにおこたえできる新商品・新サービスの開発や、収益向上に向けたローコスト化対応にも取り組んでまいりました。

しかしながら、景気低迷による取扱貨物量の減少やお客さまからの物流費低減要請、さらには連結対象子会社であったセンコーリース株の全株式を譲渡した影響もあり、連結営業収益は868億30百万円と対前年同期比4.2%減となりました。

一方、利益面につきましては、連結経常利益が20億32百万円と対前年同期比11.9%減となりましたが、前中間期において特別損失として計上しておりました退職給付会計基準適用による積み立て不足額一括償却による退職給



を実現する

付会計基準変更時差異および退職給付信託設定損の減少等により、連結中間純利益は11億95百万円と対前年同期比57億86百万円の増益となりました。

なお、センコーリース株の全株式譲渡は、当グループの収益向上と、総資産や有利子負債圧縮による財務体質の健全化を図り、戦略分野への経営資源の集中投下を狙ったものであります。これにより連結有利子負債は平成13年3月末から128億円削減の495億円となり、中期経営三カ年計画の最終年度である平成16年3月末の有利子負債目標として設定しておりました560億円を、当中間期で達成いたしました。

単体決算につきましては、営業収益は、730億84百万円と対前年同期比1.4%減、経常利益は、17億79百万円と対前年同期比16.2%減、中間純利益は8億15百万円と対前年同期比57億9百万円の増益となりました。なお、中間配当金につきましては、前期同様1株につき3円75銭とさせていただきます。

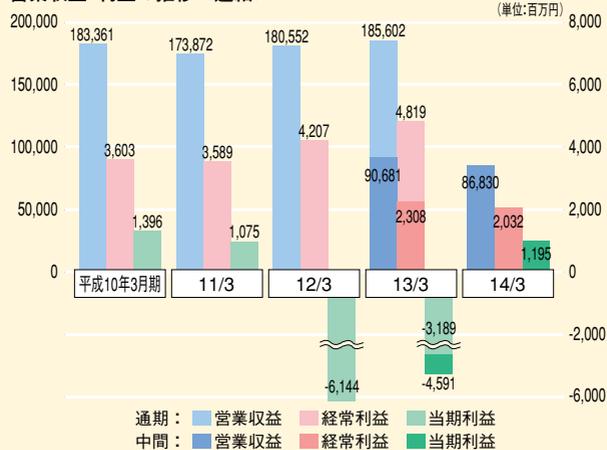
今後の見通しにつきましては、世界的なIT産業の不振が幅広い業種に波及し、国内経済のデフレ化等による景気低迷に加え、米国の同時多発テロ事件の影響も追い討ちをかけるなど、わが国経済はさらに悪化することが予想されます。

物流業界におきましても、貨物輸送量の増加が期待できないなか、厳しい状況が続くものと予想される一方で、お客さまは、高品質で効率的な物流システムの提案や包括的な物流業務委託によるコストダウンを期待されており、物流企业果たすべき役割は、より重要となっております。

当グループといたしましては、これらお客さまニーズにすばやく、的確におこたえし、最適な流通ソリューションの提供に努めることで、さらなる業容拡大に努めるとともに、一層のローコスト体制の構築を図ることで収益力確保に取り組み、企業価値の向上に邁進してまいりたいと考えております。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

営業収益・利益の推移<連結>



営業収益・利益の推移<単体>

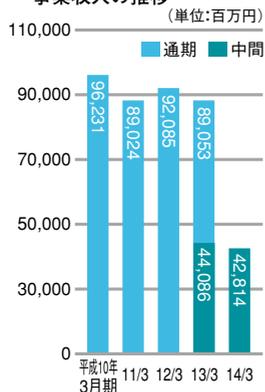


貨物自動車運送事業

貨物自動車運送事業の当中間期の事業収入は、428億14百万円(対前年同期比2.9%減)で、事業収入構成比は49.3%となりました。これは、量販店・小売関係貨物が堅調に増加いたしましたものの、住宅関連需要の減少による住宅輸送分野での輸送量減少に加え、素材関連貨物の減少があったことによるものです。

当グループの貨物自動車運送事業は、全国にきめ細かなネットワークを展開しており、貸切輸送から積み合わせ輸送、ルート輸送、共同輸送など、お客さまの商品・物流形態に合わせた輸送・配送サービスを提供しています。輸送貨物は産業用原料から工業製品、建設・住宅資材、農産物、一般消費財、引越し荷物まで、衣・食・住すべてにかかわるものを扱っています。また車両も各種専用車・特殊車を用意するなど、フレキシブルな輸送体制が、メーカーをはじめとする多くのお客さまから高く評価されています。

●「貨物自動車運送事業」 事業収入の推移



SENKO

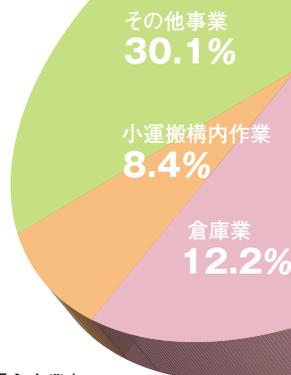
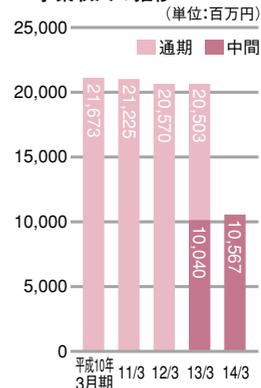
倉庫業

倉庫業の当中間期の事業収入は、105億67百万円(対前年同期比5.2%増)で、事業収入構成比は12.2%となりました。これは、既存貨物の荷動き低迷はありましたが、量販店・小売関係貨物を中心とした営業拡販による取扱貨物の増加があったことによるものです。

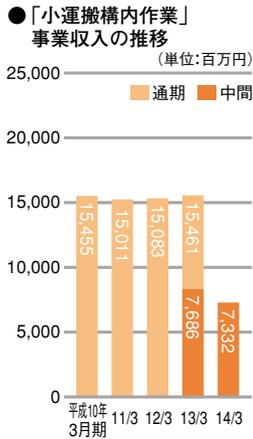
当グループの倉庫拠点は、従来の倉庫のイメージを一新した物流施設で、倉庫の持つ保管機能、配送機能、商品のセット組み、値札つけなどの流通加工や高度情報機能を組み合わせたサービスを提供する複合機能型の物流センターです。

現在、全国主要拠点に169棟を設置し、総保管面積は約71万㎡に達します。これら倉庫拠点を中心に、多様化するお客さまのニーズを先取りしたシステムを使って物流と情報を一体化させ、お客さまの生産と販売を支援する各種物流サービスを提供しています。

●「倉庫業」 事業収入の推移



小運搬構内作業



小運搬構内作業の当中間期の事業収入は、73億32百万円(対前年同期比4.6%減)で、事業収入構成比は8.4%となりました。これは、住宅関連分野での業務量の減少に加え、素材関連貨物を中心とした工場内作業の減少があったことによるものです。

小運搬構内作業とは、お客さまの工場や倉庫などで、原材料のトラック積み卸しから製品の包装・梱包、積み込みといった物流作業から製造過程での各種作業を行うもので、物流のプロとしての確かな仕事で、工場内の物流管理を支えています。



貨物自動車運送事業
49.3%

NOW!!

◀◀◀ 部門別事業収入比率
(平成13年9月期)



その他事業

その他事業の当中間期の事業収入は、261億17百万円(対前年同期比9.5%減)で、事業収入構成比は、30.1%となりました。これは、量販店・小売物流関連業務の増加はありましたものの、センコーリース株の譲渡影響および石油販売事業の縮小等によるものです。

当グループのその他事業には、鉄道利用運送、コンテナ船や専用船による海上運送、顧客専用倉庫やスペース貸し倉庫の不動産賃貸、フレイト・フォワードとして国際間の複合一貫輸送を行う国際物流、石油販売、商事販売、情報処理・ソフトウェア開発、自動車整備などが含まれています。

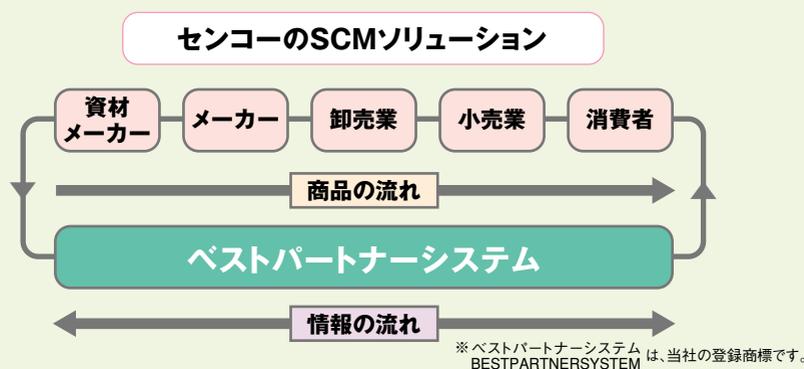


より速く、ローコストに、統合システムを実現。 「ベストパートナーシステム」で新たな価値を提案します。



ベストパートナーシステムは、メーカー様から、卸売業・小売業・最終消費者の皆様までのサプライチェーン全体を統合管理する、情報と物流を一体化したロジスティクスシステムです。あらゆる業種のお客様向けにカスタマイズされたイージーオーダー型物流受託システムとして、「より速く、ローコスト」な物流オペレーションを実現し、お客様のSCM（サプライチェーンマネジメント）構築を強力にサポートします。

- 原材料調達・仕入れから最終納品までのSCMを効率よくサポートし、業務軽減とトータルコストダウンを実現します。
- 物流に関する、あるいは隣接する業務のアウトソーシング（業務代行）に効率的に対応します。
- 流通の各段階で発生する諸情報の提供により、お客様の販売促進を支援します。
- 商品の管理状況・配送情報をリアルに追跡し、その経過をお知らせすることで大きな安心をお届けします。



ベストパートナーシステムの主な機能

受発注機能

- インターネット受注代行システム
- EDI対応
- ASN（事前出荷）情報送信システム
- カード決済システム

物流センター機能

- バーコードロジスティクスシステム
- PHS無線ハンディターミナル管理システム
- PCシステム
- DCシステム
- クロスドックDCシステム
- 通路・カテゴリー配分システム
- SCMラベル発行システム
- 鮮度・期限管理システム
- サジェスティブオーダーリングシステム
- 機番管理システム
- インターネット・リアル在庫サーチシステム
- インターネット・レポートシステム
- 書類作成代行システム
- TCシステム

配送機能

- 配車支援システム（自動配車シミュレーションシステム）
- インターネット求貨車システム
- インターネット貨物追跡システム
- GPS動態管理システム
- iモードデータ情報入力（配達完了入力）システム

NEW STRATEGY OF SENKO

センコーリース(株)の全株式を譲渡

当社は、7月19日付で、連結対象子会社であるセンコーリース(株)の全株式をオリックス(株)に譲渡しました。センコーリース(株)は、センコーグループおよび協力会社向けのトラック、乗用車、荷役機器などのリース業を事業の柱としてきましたが、昨今のリース業界の競争激化に伴い、センコーリース(株)の将来的な成長のためには業界大手のオリックス(株)への譲渡が望ましいと判断したものです。

当社では中期経営計画において、グループ全体の経営革新と成長を図るなか、利益重視の経営をめざすという方針を打ち出していますが、今回の株式譲渡はその一環でもあり、今後はグループとしてさらなる業績向上と総資産や有利子負債の圧縮などにより財務体質を健全化し、事業の選別と集中を図っていきます。

イオン(株)殿の物流業務がスタート

仙台支店の仙台PDセンター内に完成した「イオングループ仙台RDC(リージョナル・ディストリビューション・センター)」が6月4日から稼働し、イオン(株)殿の物流業務をスタートさせました。

宮城県岩沼市内にある既存の仙台PDセンターを増設してできたセンターは、増設後の建物延床面積が29,700㎡と、量販・小売物流拠点としては当社でも最大級の規模。センターには自動倉庫などの最新鋭の設備と情報システムが導入され、加工食品や日用雑貨など、冷凍・生鮮食品以外の全商品のセンター受け入れから検品、店舗別仕分け、配送まで物流業務全般を行います。配送する店舗は、東北6

県の全店舗をはじめイオングループ殿の169店舗。当社は本センターを核に、イオン(株)殿の新物流システム構想を支援していきます。



旭化成(株)生活製品カンパニー殿の物流業務一括受託へ

現在、旭化成(株)生活製品カンパニー殿と共同で、包括的業務受託に向けた取り組みを進めています。その第1ステップとして、7月から旭化成(株)殿の鈴鹿工場内に全国受注デリバリーセンターを開設し、当社が受注代行業務を開始するとともに、サプライチェーン全般の物流を統合管理する工場系ベストパートナーシステムも稼働させました。

今回の取り組みは、当社にとって3PL手法を用いてお客さま企業のSCM(サプライチェーンマネジメント)を強力に支援するロジスティクス・ビジネスモデルの初めてのケース。こうした物流業務のすべてを一貫して引き受けることで、当社の物流企業としてのノウハウを最大限に活用して、お客さま企業に総体コストの圧縮メリットを還元し、業務全般を引き受けることで売上げアップと業務の効率化をめざしていきます。

環境規格「ISO14001」を初取得

当社では環境保全を経営の重要なテーマとして位置付けており、中期的な取り組み指針である「環境対策マスタープラン」を策定し、グループをあげて活動を展開しています。

具体的な活動は、車両低公害化、省資源活動、廃棄・リサイクル活動、物流システムによる環境対策、環境マネジメントシステムの導入などです。こうしたなか、環境マネジメントシステム構築の一環として取得活動を進めてきた「ISO14001」の認証を、名古屋支店が当社で初めて取得しました。

今年度はこの活動を水平展開させ、活動支店数を増やすことにしており、全店取得へのステップとして、エリア単位での認証取得を加速させる計画です。そして、最終的には、全社の認証を一つに統合・集約し、当社の環境マネジメントシステムを完成させていきます。



DATA OF 2001

連結

中間連結貸借対照表

(平成13年9月30日現在)

■単位:百万円

資産の部		負債の部	
流動資産 ……………	42,797	流動負債 ……………	35,043
現金及び預金	14,400	支払手形及び営業未払金	12,437
受取手形及び営業未収入金	23,586	短期借入金	13,104
その他	4,913	1年以内に償還予定の転換社債	44
貸倒引当金	△102	その他	9,456
固定資産 ……………	90,163	固定負債 ……………	56,642
有形固定資産	70,063	社債	10,000
建物及び構築物	30,775	転換社債	13,837
機械装置及び運搬具	3,731	長期借入金	11,244
土地	34,476	退職給付引当金	17,582
その他	1,080	その他	3,977
無形固定資産	897		
投資その他の資産	19,202	負債合計 ……………	91,685
投資有価証券	1,330		
繰延税金資産	9,705		
その他	8,456		
貸倒引当金	△288		
		資本の部	
		資本金	18,295
		資本準備金	17,001
		連結剰余金	6,041
		その他有価証券評価差額金	△63
		自己株式	△0
		資本合計 ……………	41,275
資産合計 ……………	132,961	負債及び資本合計 ………	132,961

中間連結損益及び剰余金結合計算書

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

■単位:百万円

営業収益……………	86,830
営業費用	84,669
営業利益……………	2,161
営業外収益	468
営業外費用	597
経常利益……………	2,032
特別利益	734
特別損失	847
税金等調整前中間純利益……………	1,919
法人税、住民税及び事業税	850
法人税等調整額	△126
中間純利益……………	1,195
連結剰余金期首残高	5,274
連結剰余金減少高	428
連結剰余金中間期末残高……………	6,041

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

■単位:百万円

営業活動によるキャッシュ・フロー	1,410
投資活動によるキャッシュ・フロー	72
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,952
現金及び現金同等物の減少額	△3,469
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,400

単体

中間貸借対照表

(平成13年9月30日現在)

■単位:百万円

資産の部		負債の部	
流動資産 ……………	36,607	流動負債 ……………	29,533
現金及び預金	13,076	支払手形	1,267
受取手形	1,942	営業未払金	7,727
営業未収入金	16,823	短期借入金	13,066
繰延税金資産	525	1年以内に償還予定の転換社債	44
その他の流動資産	4,326	その他の流動負債	7,426
貸倒引当金	△88		
固定資産 ……………	90,049	固定負債 ……………	56,177
有形固定資産	68,167	社債	10,000
建物	26,850	転換社債	13,837
船舶	946	長期借入金	11,206
車輛運搬具	1,634	その他の固定負債	21,134
土地	33,780		
その他の有形固定資産	4,955		
無形固定資産	776		
投資等	21,106	負債合計 ……………	85,710
投資有価証券	1,022		
繰延税金資産	9,401	資本の部	
その他の投資	10,804	資本金	18,295
貸倒引当金	△122	法定準備金	18,507
		剰余金	4,205
		(うち中間利益)	(815)
		その他有価証券評価差額金	△62
		自己株式	△0
		資本合計 ……………	40,945
資産合計 ……………	126,656	負債及び資本合計 ……………	126,656

中間損益計算書

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

■単位:百万円

営業収益 ……………	73,084
営業費用	71,217
営業利益 ……………	1,866
営業外収益	471
営業外費用	558
経常利益 ……………	1,779
特別利益	564
特別損失	885
税引前中間利益 ……………	1,458
法人税、住民税及び事業税	732
法人税等調整額	△90
中間利益 ……………	815
前期繰越利益	966
中間未処分利益 ……………	1,782

(注) 当中間期の特別償却積立金に相当する2百万円は、第85期の利益処分案に計上する予定です。

DATA OF SENKO

[会社概要] (平成13年9月30日現在)

会社の概要

商号	センコー株式会社
資本金	18,295,643,751円
創業	大正5年9月
設立	昭和21年7月
事業所	211ヶ所
従業員	4,159名
貨物自動車	1,959輛
所有船舶	7隻
倉庫	719,216㎡

主要な事業所

■本社

大阪市北区大淀中一丁目1番30号

■関東事業本部

東京都港区浜松町一丁目26番1号

■中部事業本部

名古屋市西区牛島町5番2号

■関西事業本部

大阪市北区大淀中一丁目1番30号

■九州事業本部

福岡市東区箱崎ふ頭五丁目1番40号

■部支店

札幌、仙台、茨城、北関東、埼玉、柏、東京、
神奈川、千葉、静岡東、静岡西、名古屋、
三重、北陸、京滋、大阪、岡山、山口、福岡、
延岡、国際物流、海運、通運

役員

代表取締役会長	馬場 英次
代表取締役社長	小池 洋
代表取締役副社長	田中秋夫
常務取締役	福田泰久
常務取締役	賀木 勲
常務取締役	清宮保之
取締役	池田宜郎
取締役	和田定晋
取締役	柘植道義
取締役	伊藤忠雄
取締役	佐賀和夫
取締役	後藤和男
取締役	幡野哲夫
取締役	鈴木 勲
常勤監査役	林 正浩
常勤監査役	高橋三郎
常勤監査役	浅野英雄
監査役	殿村英幸

子会社

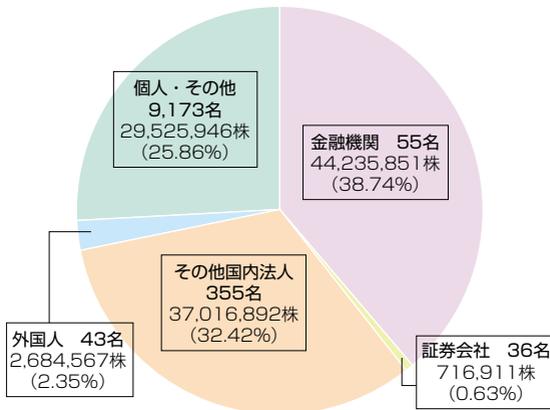
センコー商事(株)
(株)センコー保険サービス
センコー情報システム(株)
関西センコー整備(株)
(株)センコー引越プラザ
札幌センコー運輸(株)
東北センコー運輸(株)
関東センコー運輸整備(株)
東京センコー運輸(株)
千葉センコー運輸整備(株)
富士センコー運輸(株)
東海センコー運輸(株)
滋賀センコー運輸整備(株)
大阪センコー運輸(株)
岡山センコー運輸(株)
三協貨物(株)
山陽センコー運輸(株)
(株)四国冷凍運輸倉庫
福岡センコー運輸(株)
熊本センコー運輸(株)
宮崎センコー運輸整備(株)
埼玉センコーアポロ整備(株)
大東センコーアポロ(株)
北陸センコーアポロ(株)
宮崎センコーアポロ(株)
中日本資材(株)
センコーフーズ(株)
(株)クレフィール湖東
広州扇興物流有限公司

[株式情報] (平成13年9月30日現在)

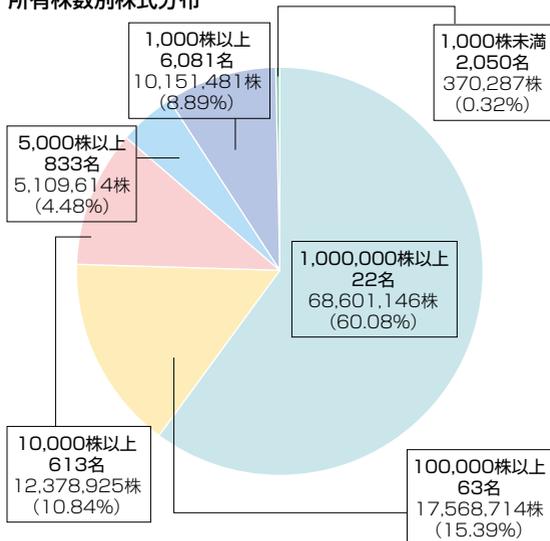
株式の状況

発行済株式総数 114,180,167株
株主総数 9,662名

所有者別株式分布



所有株数別株式分布



大株主 (上位10位)

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
旭化成株式会社	10,676,726	9.35%
積水化学工業株式会社	6,785,900	5.94%
三菱信託銀行株式会社	5,360,000	4.69%
株式会社東海銀行	5,300,516	4.64%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	4,955,000	4.34%
センコーグループ従業員持株会	4,459,743	3.91%
東京海上火災保険株式会社	4,439,170	3.89%
千代田生命保険相互会社	3,200,000	2.80%
ニッセイ同和損害保険株式会社	3,169,655	2.78%
いすゞ自動車株式会社	2,811,622	2.46%

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
配当金受領株主確定日	3月31日(利益配当金) 9月30日(中間配当金)
名義書換代理人	三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区永田町二丁目11番1号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
電話照会先	三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)5391-1900(代表)
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞



〒531-6115 大阪市北区大淀中一丁目1番30号 TEL. (06) 6440-5155 (代表)

URL <http://www.senko.co.jp/>